

こんにちは、 日本共産党井上けんじです

日本共産党南地区委員会 ☎ 371-9164 自宅 ☎ (F兼) 691-3323 (携帯) 090-7880-9442
 日本共産党京都市議員団 ☎ 222-3728 FAX 211-2130
 市議員団ホームページ <http://cpgkyoto.jp/> E-mail info@cpgkyoto.jp 2019年11月24日号



福山和人さんが街頭から訴え

11月17日午後、四条烏丸にて、来年早々の市長選に出馬予定の福山和人さんが、多くの聴衆の前で「市政を変えよう」と訴えられました。「つなぐ京都 2020」(市民有志と日本共産党・新社会党、市民団体・労組などで構成、さらに参加される個人・団体大募集中)の主催(写真左)。福山さんの重点政策の重点を紹介します。



11月4日、医療問題学習会が開かれ(写真上)、井上議員も勉強。政府が、宇多野病院など全国の病院を名指して「要らない」などと、とんでもないことを言っています。

また18日には京都府後期高齢者医療広域連合の会合が開かれ、来年度は保険料値上げの見込みなどと話し合われていました。こちらは傍聴だけで意見は言えませんでした。

●市も商店街応援と言っている。それは、消費者への生活用品提供問題意識はあるか。

●「ひとをつなぐ」
 ◎過度な公務の民間化
 ◎再生可能エネルギー活用

- ◎「夢をつなぐ」
- ◎貧困をなくす
- ◎国保料引き下げ
- ◎子ども医療費助成制度の拡充
- ◎全員制中学給食実施
- ◎老人医療制度助成の拡充
- ◎「なりわいをつなぐ」
- ◎中小企業地域振興基金条例の制定
- ◎住宅改修助成制度
- ◎介護・保育・建設・観光等各分野の人手不足対策
- ◎「まちをつなぐ」
- ◎公共交通を軸とした交通政策
- ◎観光「公害」対策
- ◎「未来へつなぐ」
- ◎防災対策充実
- ◎再生可能エネルギー活用
- ◎「ひとをつなぐ」
- ◎過度な公務の民間化

11月8日の市議会にて、「買物難民」の問題について質問しました。井上議員の質問●の要旨を紹介します。

「買物難民」対策の具体化を

●南区中東部で複数の中堅スーパーが閉店。生活必需品を買う所が消滅の危機。対策は？

●「ロボの野菜」運行や店舗への送迎活動、出前・宅配等々、全国的にも対策・取組の先例もある。公設民営市場の事例もある。具体的に検討されたい。

・非正規化の見直し

◎住民自治を育む

写真上から、①南民商婦人部定期総会、②6億円のムダ、梅小路横断歩道橋を現場視察、③九条健康友の会の保健学校で勉強



市民の皆さんとともに 激励連帯、ウオッチング、みんなで勉強

の為でもある。ならば買物難民対策もまた課題のハズ。市民の生存にかかわる。実態把握や分析はどうか。

◎全体として市は「店の努力」とか「消費者が増えれば」等の答弁に終始。しかし、「課題としては認識している。市全体で考えていく」とも答弁しました。